

Tail Making Test A・B (TMT-A・B)

【目的】注意機能・遂行機能の向上

【評価指標】個別：完成までの時間，誤反応数

全体：制限時間を TMT-A は 1 分，TMT-B は 2 分とし，遂行数と誤反応数を記録する。

【検査道具】評価用紙，鉛筆，ストップウォッチ

【評価の進め方】

TMT-A の場合

「この紙の上には数字が 1 から 26 までばらばらに書いてあります。私が『始め』と言ったら，
1 - 2 - 3 - 4・・・と順番に線で結んで行って下さい。」

個別：「それでは，やってみましょう。間違えないようにできるだけ早く行ってください」

全体：「それでは，やってみましょう。制限時間は 1 分間です。間違えないようにできるだけ早く行って下さい。」

「途中で間違ったことに気づいたら，戻ってやり直してかまいません。私が時間ですと言ったら鉛筆を置いて下さい。」
「それでは始めます。」

1 分計測 「はい。時間です。鉛筆を置いてください。」

TMT-B の場合

「この紙の上には数字が 1 から 13 までと平仮名が『あ』から『し』までばらばらに書いてあります。私が『始め』と言ったら，1 - あ - 2 - い - 3 - う・・・と数字 - 平仮名の順に線で結んで行って下さい。」
「まず，例題からやってみましょう」 理解が不十分な場合は，再度説明を

個別：「それでは，やってみましょう。間違えないようにできるだけ早く行ってください」

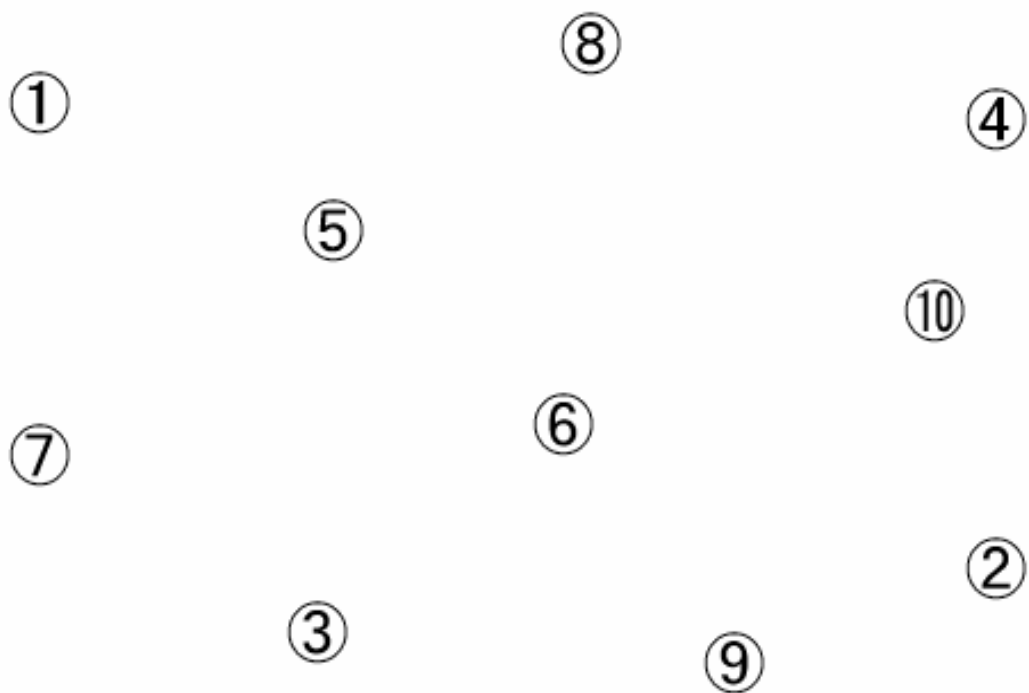
全体：「それでは，やってみましょう。制限時間は 2 分間です。間違えないようにできるだけ早く行って下さい。」
「途中で間違ったことに気づいたら，戻ってやり直してかまいません。」

私が時間ですと言ったら鉛筆を置いて下さい。」

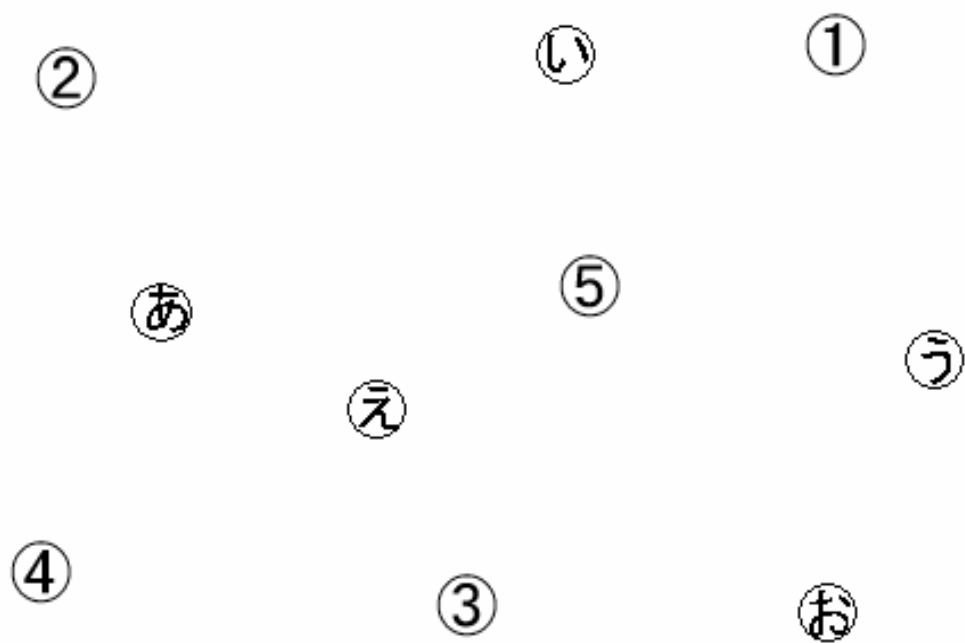
「それでは始めます。」

2 分計測 「はい。時間です。鉛筆を置いてください。」

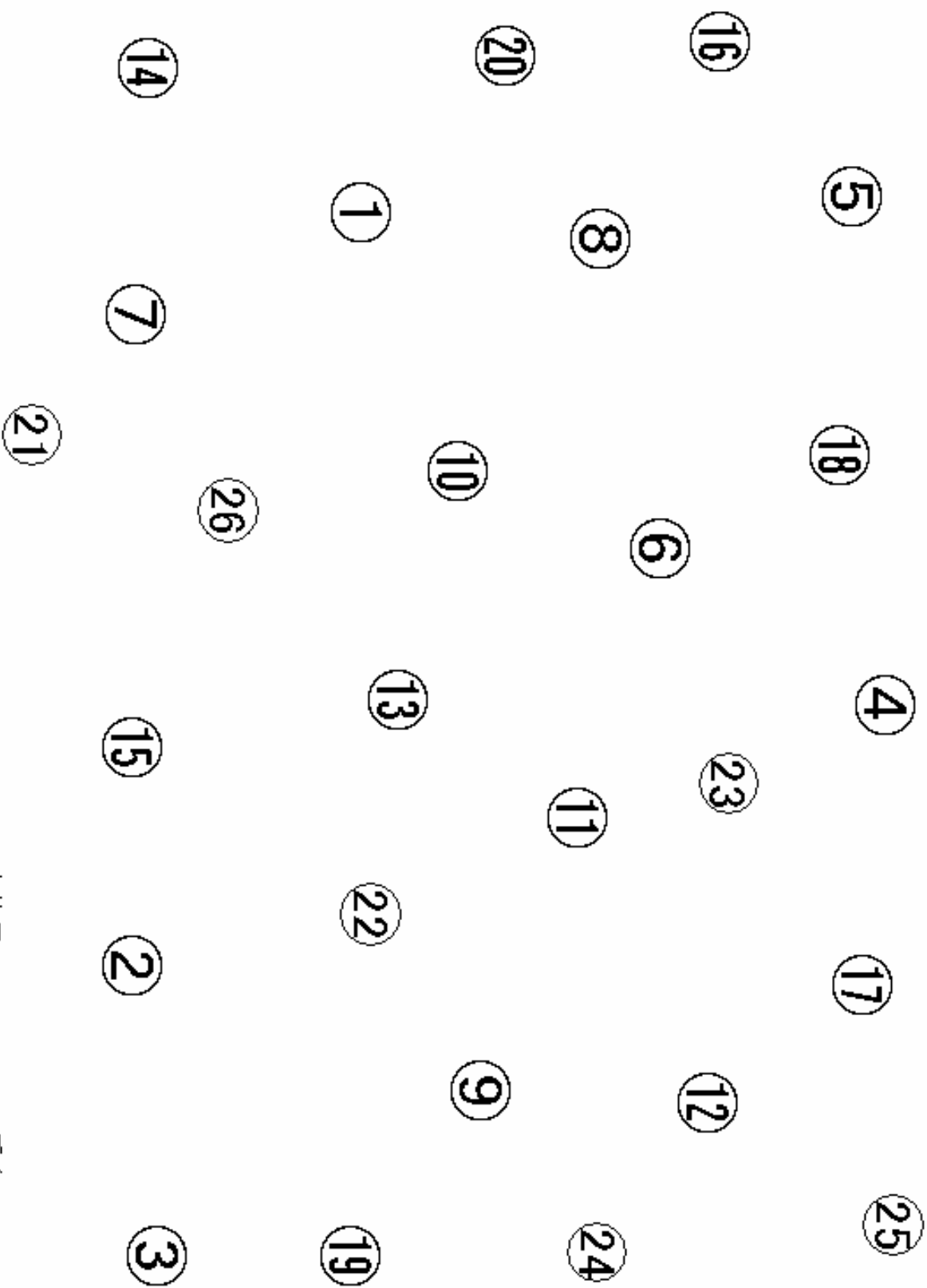
練習 TMT-A



練習 TMT-B



TMT-A



実施日 _____ 氏名 _____

TMT-B

- ⑤ ① ⑩ ③ ⑧ ④ ①① ⑤ ② ⑨
- ①② ③④ ⑤⑥ ⑦⑧ ⑨⑩ ⑪⑫ ⑬⑭ ⑮⑯ ⑰⑱ ⑲⑳
- ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

実施日 _____ 氏名 _____